

<p>会報</p> <p>第54号</p>	<p>Mt. Iwaki Conservation Association</p> <p>岩木山を考える</p>	<p>2011年4月20日発行</p> <p>岩木山を考える会</p> <p>会長 阿部 東</p>
-----------------------	---	--

新たな役員体制と方針で新年度スタート

—2011年度総会に21名が出席し、無事終了—

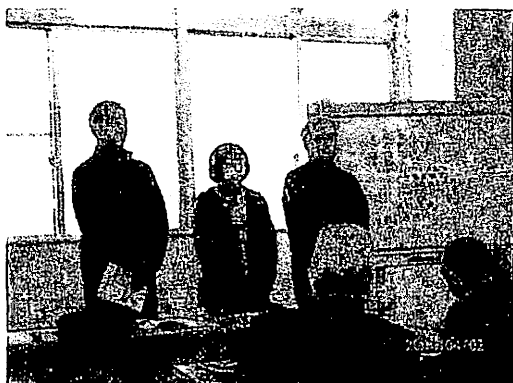
4月2日、弘前市男女共同参画センターで2011年度総会を開催し、会員21名が出席しました。

冒頭、工藤龍雄幹事の音頭で、故三浦章男事務局長の逝去を忍んで黙祷を捧げました。

阿部会長の挨拶の後、議長に土岐氏を選任しました。議事次第に沿って議案が提案されました。役員体制については、事務局長に竹浪 純氏が、新たな幹事に藤原裕貴子氏、花田一雄氏、三上範子氏が、そして、事務局に三浦章子氏の補強提案がなされました。

質疑応答では方針が一部補強され、採決は満場一致の拍手で採択されました。

議事終了後、新役員が紹介され、挨拶がありました。



新役員に選出され挨拶をする、
左から花田幹事、三浦事務局、竹浪事務局長の各氏

【総会に寄せて】

2011年4月2日(土) 佐藤 竹郎 記

昨年11月末、この会の三浦章男事務局長さんが急逝された事は、誠に残念でなりません。これまで岩木山の花々の著作を成し遂げられるなど、心から自然を守るべく、数々の貢献をし、大きな柱となつて、会を支えてきてただけに惜しまれてなりません。心からご冥福をお祈りいたします。

いつも会を司っていたのが、そこに居られないのは何かさびしい思いでした。それで阿部会長さんが、これまでの活動報告や、今後の活動方針などを一手に引き受けて説明し、ご苦労されたと思います。

私はこの会の発足時から、岩木山をこれ以上乱開発し、森などの自然を壊さないで欲しいと強い思いで参加しましたが、当時は弥生の開発問題が大きな問題で、これに集中していたのです。それが、ようやく今の状態を取り止めとなったわけですが、それが今度は様々な問題が次々に出てきて、例えば先の弥生の跡地の問題、登山道やゴミの問題、ダムの問題等々、これらに対処すべく何か焦点をというか、目標が多岐にわたって会の少ない予算で会員の人達が熱意で頑張ってきたわけです。

根本は、この地方の弘前市民のいわば心のより所と言うべき、最も大切な山をどう守っていくか、会員のみならず広く訴えていかなければと私は思っています。それには、経済的にも時間的にも体力的にも大変な時なので、重点をしっかりとらして活動すべきと思います。岩木山の植生や地質、歴史など基礎的な調査や研究は重要ですが、一般の会員にはどうでしょうか。何か会員たちが楽しく話し合える面も取り入れたらと感じています。総会にも多数参加して活発な意見や提案などがされるよう、また若い人達も興味を持って参加しやすい方途を阿部会長さんを中心に皆で考え

【東日本大震災の義捐金について】

4月2日の総会において「東日本大震災」への義捐金を募りました。会場では17,233円が集まり、会では「NHK厚生文化事業団」宛に送付しました。ご協力ありがとうございました。

被災地の皆さんの一日も早い復興に役立てればと思います。

ていかなければと思います。

私自身も後期高齢者となり、参加もままならなくなっていますが、かつての岩木山の豊かさを思い、心を癒しています。

終わりに阿部会長さんが自然保護の大切さを、福島県のお孫さんの話を例に、「大災害の際に子どもの心の痛手を癒してくれるのは、自然の環境なのだ」ということから訴えたことは大変印象的でした。

また、会長さんたちの努力により、幹事の若返りと人数が増えたことは非常に良かったと思います。

今後のご活躍を大いに期待しています。

平成22年度(2010年度)収支決算報告

収入の部

単位：円

	予 算	決 算	差引増減	備 考
前年度繰越金	138,606	138,606	0	22年度会費¥44,000・23年度以降会費¥63,000
会費	66,000	186,000	△120,000	22年度会費:¥116,000・23年度以降会費¥70,000
寄付	0	161,760	△161,760	23件¥57,000・21年度以前会費¥101,000その他¥3760
利子	100	33	67	
雑収入	0	0	0	
合計	204,706	486,399	△281,693	

支出の部

単位：円

	予 算	決 算	差引増減	備 考
会議費	3,000	21,000	△18,000	総会及び幹事会会場費・スキーパトロール総会補助
シンポジウム	0	0	0	
写真展	7,800	7,800	0	会場費
調査費	0	2,500	△2,500	スカイライン・ガソリン
会報	30,000	11,347	18,653	2回印刷費・用紙・封筒
郵送費	50,000	33,705	16,295	会報
事務費	50,000	18,856	31,144	はがき・インク・コピー
予備費	63,906	0	63,906	
合計	204,706	95,208	109,498	

差引収支 486,399 - 95,208 = 391,191 次年度繰越金

平成23年度(2011年度)収支予算

収入の部

単位：円

	22年度決算	23年度予算	備 考
前年度繰越金	138,606	391,191	23年度会費¥67,000 24年度以降会費¥66,000
会費	186,000	93,000	23年度会費納入予定額
寄付	161,760	0	
利子	33	30	
雑収入	0	0	
合計	486,399	484,221	

支出の部

単位：円

	22年度決算	23年度予算	備 考
会議費	21,000	10,000	総会・幹事会会場費
シンポジウム	0	30000	会場費・謝礼

写真展	7,800	10,000	会場費
調査費	2,500	18,000	ガソリン代@1000円×18回
会報	11,347	20,000	3回印刷費・用紙・封筒
郵送費	33,705	45,000	会報3回分送料
事務費	18,856	27,000	
予備費	0	324,221	24年度以降会費¥66,000を含む
合計	95,208	484,221	

差引収支 484,221 - 95,208 = 389,013 次年度繰越金

岩木山を考える会2011年度 活動方針

総会では、今年度に以下のような取り組みをすることを決めました。(下線は議案から修正された部分です)

<方針>

- (1) 観察会を岩木山講座とし、自然観察の他に座学も入れ、岩木山に関する総合的な観点を育てる。
- (2) 第19回写真展を2月10日～12日とし、市民参加型と位置づけて開催する。
- (3) シンポジウムを岩木山湧水の生物学とし、東信行先生を講師として10月後半あたりに行う。
- (4) 東北自然保護の集いに参加する。
- (5) 地球温暖化防止、生物多様性の保護を目標に、できる限り市民と共同の活動を探る。
- (6) 関係団体との協力・連携を図る。
- (7) ホームページ「岩木山を考える会」を継続する。
- (8) 幹事会(毎月1回第1火曜日午後7時参画センター)を充実し、会員との連携を高め会員数の穏やかな増加を目指す。会員はどの幹事会でも自由に参加できるものとする。

<当面の活動日程>

1. 岩木山講座

- | | |
|-----------------|---------------------------------------|
| 5月 5日(木) | 石切沢堰堤観察会・調査 (午前10時, 百沢スキー場駐車場に集合) |
| 6月12日(日) | 弥生スキー場跡地の生物調査(弥生ネット)(午前10時, 駐車場に集合) |
| <u>7月 3日(日)</u> | 観察会「岩木山山頂付近の高山植物」 |
| 10月23日(日) | 赤倉, 大石, 巖鬼山神社, 鬼神社など神社巡り |
| 10月29日(土) | 講座「岩木山の湧水と生物多様性」東 信行 先生
シンポジウム企画予定 |
| 12月 | 講座「岩木山のクジラ化石」佐藤 巧 先生(予定) |
| 1月または3月 | 講座「岩木山と信仰」小山 隆秀 先生(予定) |

2. 調査活動

- | | |
|----|--------------|
| 6月 | 長平湿原調査(日程未定) |
|----|--------------|

3. 幹事会

毎月, 第1火曜日午後7時で定例化。第1回 4月5日(火)午後7:00～市民参画センター(桜大通り)
(但し、8月はねぶた祭りの関係で8月9日(火)、1月は正月三が日なので1月10日(火)とする。)

4. 写真展

平成24年(2012年) 2月10日(金)～12日(日)に市民参加型と位置づけて実施

<体制>

会長 阿部 東 副会長 武尾 照子

幹事 飛島 和弘, 工藤 龍雄, 竹谷 清光, 佐藤 竹郎, 土岐 修平, 小堀 英憲
斎藤 真人, 小倉 慎吾, 藤原裕貴子(新), 花田 一雄(新), 三上 範子(新)

事務局長 竹浪 純(新) (事務局) 葛西 拓美, 三浦 章子(新)

【連絡先】0172(36)4205(阿部) 080(5229)6076(竹浪)

岩木山講座のこれからの日程

① 5/5 石切沢堰堤観察会(ウォッチング青森と共催)

目的: スプリングエフェメラルを楽しみながら、昨年から工事が進められ大規模に里山が伐採されている砂防ダム工事現場の現状を視察し、自然保護と災害の問題を考えます。ウォッチング青森との共催で行います。

日時: 5月5日(木・祝) 10時～12時

集合場所: 百沢スキー場駐車場

持ち物: 雨具、手袋、長靴または登山靴

参加費 200円(保険・資料代)

責任者: 竹浪 純

申し込み: 080-5229-6076(竹浪宛)

申込締切日: 4月30日(土)

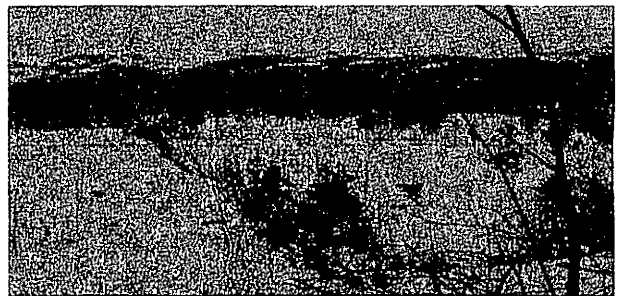
② 6/12 弥生スキー場跡地生物調査(弥生ネット・ウォッチング青森と共催)

○跡地の自然の回復を調べてみませんか。

○豊かな自然を回復するにはどうすればいいか、考えてみたいものです。

弥生スキー場跡地の自然は順調に回復が進んでいるように見えた。

しかし、実際に中に入ってみると、沢を埋め排水管を設置して整地したところは水の流れが復



昨年3月、弥生スキー場跡地の高台から

活し、排水管は露出している。流域にはヤナギの群落が発達した。表土をはいでそれを低い所に埋め立てた所や高い所から表土が流れこんだところにはハンノキを中心に林が生長している。反面、表土がはがされて、大きく削られた所や建物跡では、コケ類と1年生草本、多年生草本による荒原のままの所もある。

削られた土手に花を植えたこともあったらしく、一帯には外来植物やカワラナデシコも見られた。復旧しつつある流れはイトトンボの幼虫やニホンザリガニ、小型の魚(カジカの仲間?)もすすんでいる。自然がどのように回復するか、そして跡地に豊かな自然を回復するにどうすればよいか皆で考えてみたいものです。

日 時： 6月12日(日)10時～13時

集合場所： 弥生いこいの広場駐車場

持 ち 物： 昼食(おにぎり持参。豚汁準備します。)
・雨具・手袋・長靴

(持っていれば・・)金魚掬いのアミ、1m位の布製のメジャー・虫メガネ・発砲スチロールのトレイ

参 加 費 :500円(保険・資料代・豚汁代)

責 任 者 : 阿部 東

申し込み: 0172-35-6819(三浦宅)

申込締切日: 6月7日(火)

③ 7/3 岩木山山頂付近の高山植物観察会

岩木山の山頂付近の高山植物はスカイラインができて以来、踏み荒らしや盗掘にあつて大きな被害を受けました。岩木山を考える会ではこうした事情から、山頂付近での観察会をこれまで自粛してきました。近年、レンジャーの活躍や登山者のマナーの向上もあり、山頂付近の高山植物が少しずつ回復し始めています。そこで山頂付近の自然の回復を確認し、より一層の自然保護の運動につなげたいと考えます。

概 要： 雪解けの早い風衝地に陸奥小桜を訪ねる。白花ミチノコザクラに逢えるのを楽しみに……



ミチノコザクラ

日 時： 7月3日(日)9時～15時

集合場所： スカイライン入口 (ここで幹事等の車に分乗してスカイラインターミナルまで移動)

持 ち 物： 昼食・雨具・手袋・長靴(登山靴)

参 加 費： 200円(保険料・資料代)※他にスカイライン利用料として500円

*スカイライン入口までの交通手段が無い方は申込み時にご相談ください。

予定ルート:8合目ターミナルを出発し、9合目リフト終点・鳥の海噴火口・鳳鳴ヒュッテを経て種蒔苗代付近まで観察します。リフト終点付近で昼食休憩をとり、時間が許せば、鳥海山に脚をのぼします。

責 任 者: 竹谷 清光

申し込み: 0172-36-6686(竹谷宅:受付は午後5時以降)

雨 天 時: 散歩館で岩木山のシジミチョウの説明(標本持参)をします。

申込開始日: 6月1日(水) / 申込締切日: 6月28日(火)

【 寄 稿 】

ゴミソ

阿部 東

何十年も昔の話である。同僚の太平宇宙という五所川原農林高校の化学の先生と岩木山の水無沢へナメコ採りに行ったことがあった。

11月の半ば頃だったと思う。しばらく進むと、私たちの前を先行する小さな足跡に気付いた。30分位で前の方に人影を捉えた。木が伐られて間もない沢は見通しがよかった。私達の歩みは遅くなり、太平先生の息づかいも激しくなった。

子供？……。髪を振り乱し、手に何かを持ったやせて背の低い女性の横を通り、追い越した。伏し目がちの目が白く見えた。「チワ」私はやつの声であいさつした。白眼視である。肩やら胸あたり、衣服から湯気が立っているのが判った。「アベ先生、寒いじゃ、背中ジャワメイド先さいきたくない。」私も同感である。すぐ先からやぶこぎをし、急斜面を登った。

40分位で大きな石のあるブナ林の中の登山道に出た。キノコどころではなかった。

登山道の入口、落葉松の林をくぐると車のある場所である。ここには小屋があつて小屋の住人(イタコ?)がいた。

先日会った船沢の公民館の館長さんは、イタコのバアサンが100才で亡くなったと教えてくれたが、山の中でのことをこのイタコのバアサンに話すと「その人はゴミンだびよん。」という。子供の頃からゴミンをしている人で、時々修行に来ては山の中に1人で2~3日泊って帰るといふ。

源氏物語の中で、紫の上を苦しめる憑物を子供の霊媒によって追い払うことがのべられている。霊媒だったということらしかった。

ゴミンはイタコとは違う。イタコは師より伝えられる秘儀の取得者であるが、ゴミンはその人が突然自分が神であると気が付くといふ。いわゆるシャーマンである。

修行とは異能力者が自分の能力をみがく苦行のことであろうか。厳しい環境に耐え、それを乗り越える能力を得る。行者は最も厳しい環境として険しい山を選ぶ。山岳信仰はそれら苦行、荒行とも関連しているように思われる。岩木山はシャーマンの修行の場でもあつたのである。

【会員継続と会費納入のお願い】

「岩木山を考える会」の会員継続をお願いいたします。

会費の納入は、同封の振込用紙でお支払いいただくか、最寄の幹事までお届けください。

尚、既に平成23年度会費をお支払い頂いている方にも、同封させて頂いております。この点ご了承下さい。

編集後記

三浦前事務局長がお亡くなりになり新しい体制で会は新年度をスタートしました。私は編集に携わるのは初めてで、これまでも殆ど幹事としての活動をしていなかったのですべてにおいて不慣れですが、他の幹事の方に教えていただきながらなんとか頑張ろうと思います。私は岩木山のすぐ麓でりんごを栽培しています。山から湧き出る水や山菜など沢山の山の恵みを授かりながら生活してきました。岩木山の自然を守るということは自分の生活も守るということだろうと思っています。(小倉慎吾)

会報 「岩木山を考える」第54号(2011年4月20日発行)発行/岩木山を考える会/会長 阿部 東
〒036-8336 青森県弘前市栄町4-12-2/電話 0172-36-4205 事務局長 竹浪 純/電話 080-5229-6076
郵便振込口座番号 02380-0-37914 振込先: 岩木山を考える会